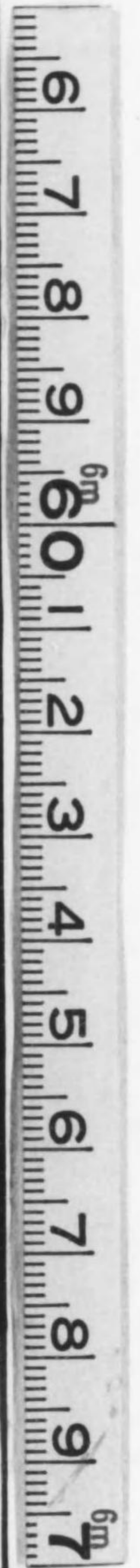


82-206



1200501325073

82



始



82

206

北海道廳殖民部拓殖課編

北海道移住索引草

144°

145°

146°

147°

全

道

藩

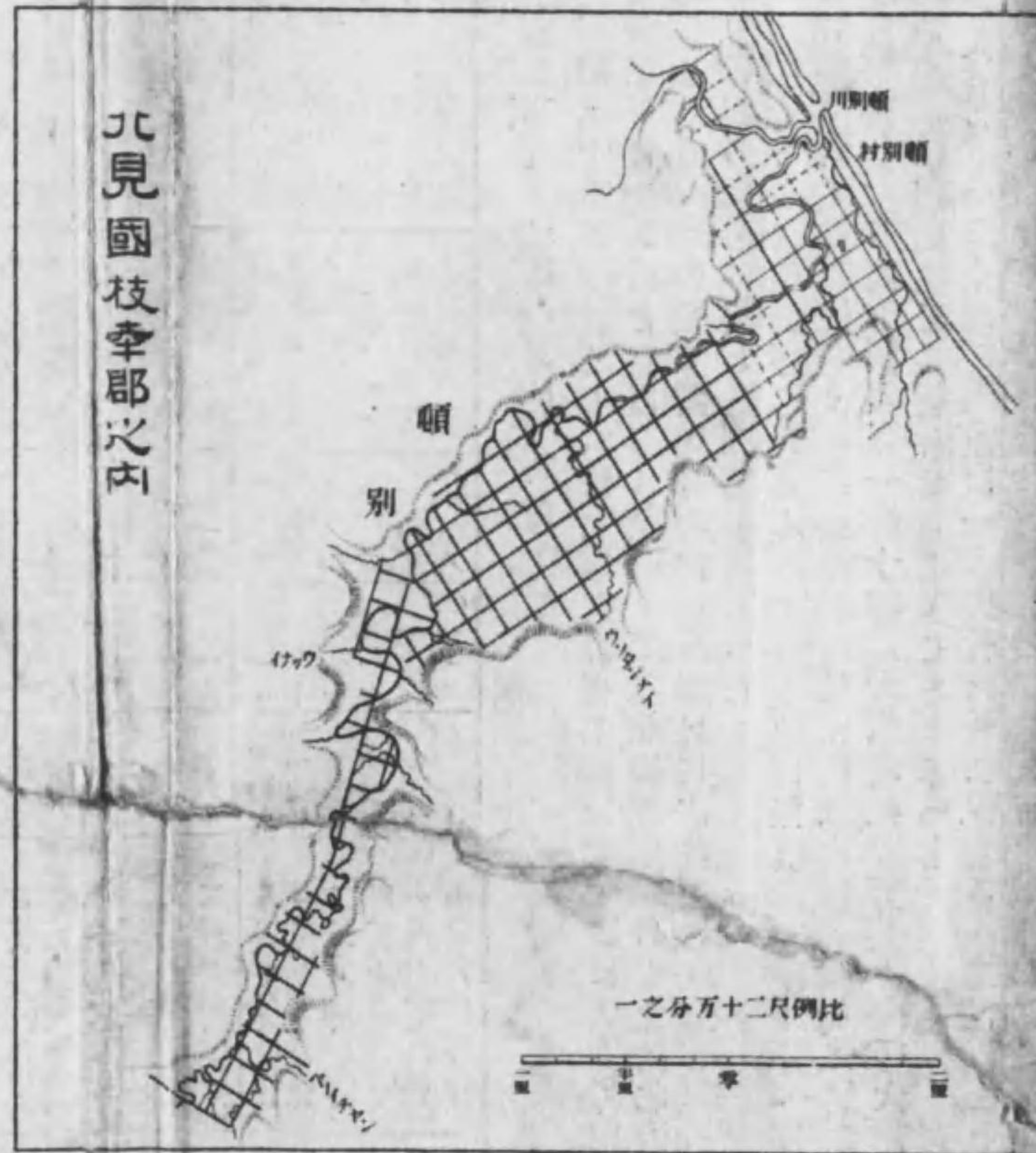
爪



一比例尺百萬分之一

五 十 十五 二十 二十五 三十

爪見國枝李郡之内



45°

一比例尺百二十萬分之一

908
58

143°

144°

145°

爪哇全圖

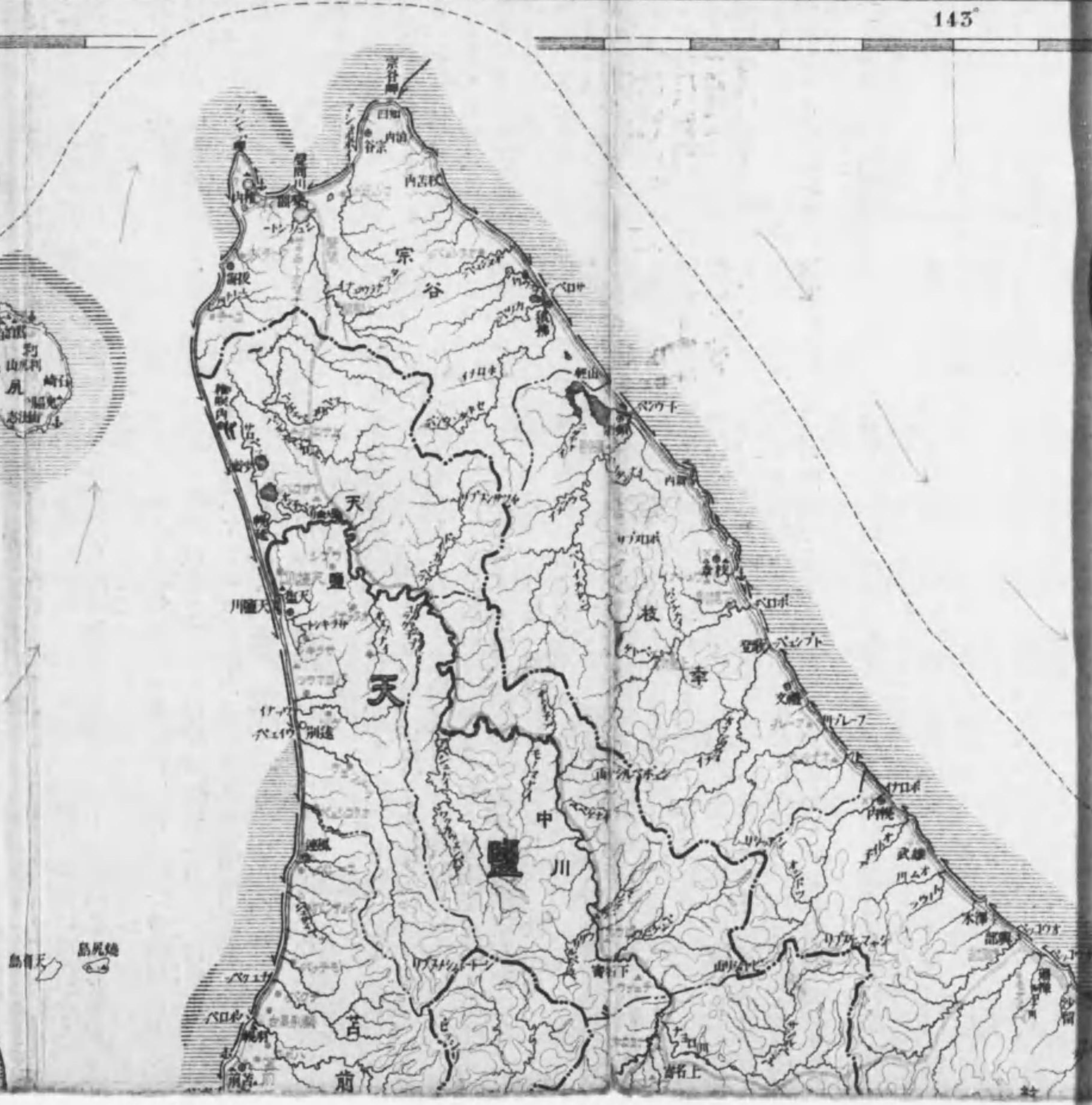
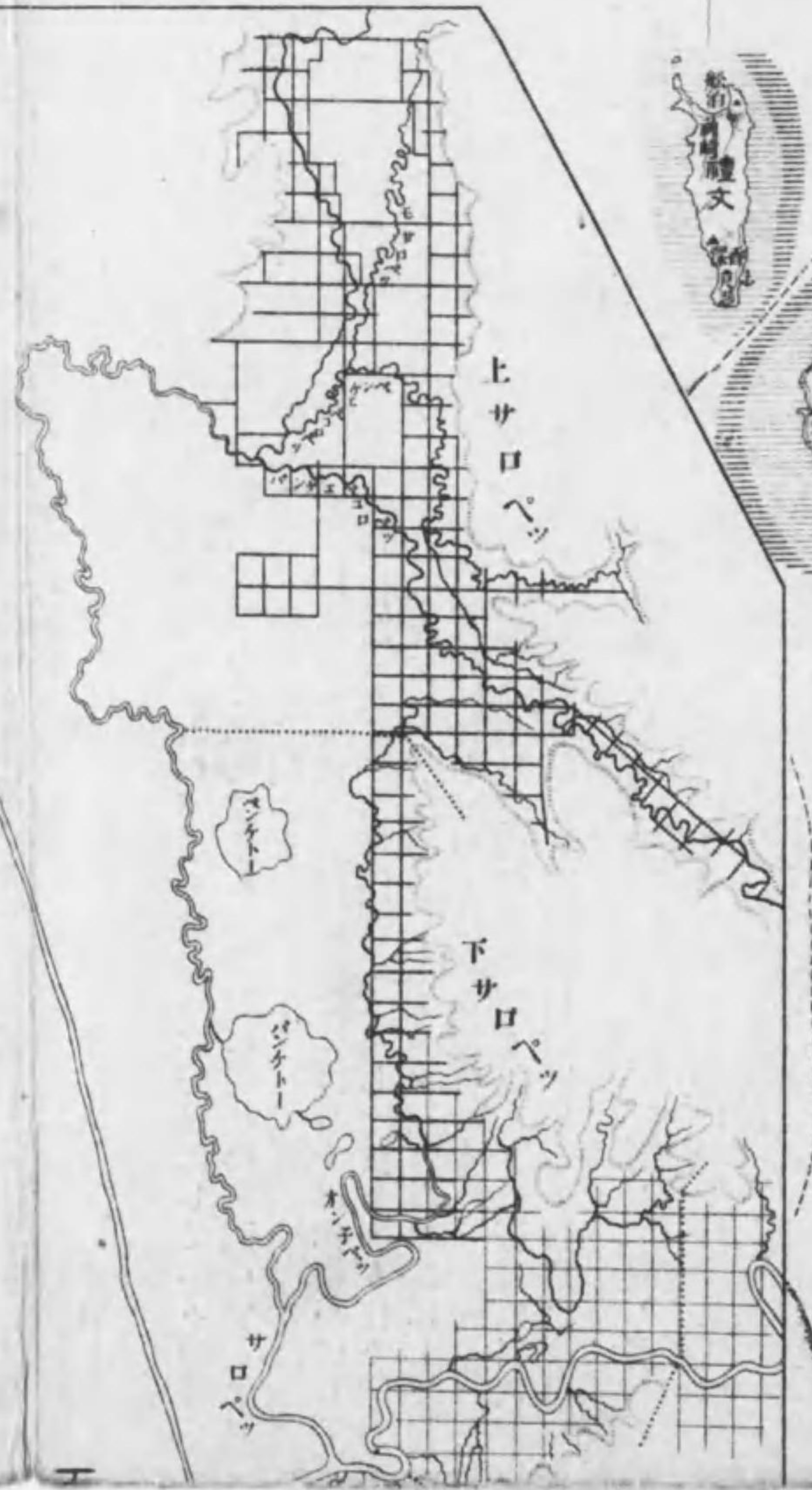


爪哇國枝李郡以內

比 例 尺 百 萬 分 之 一



天鹽國中上川兩郡之内



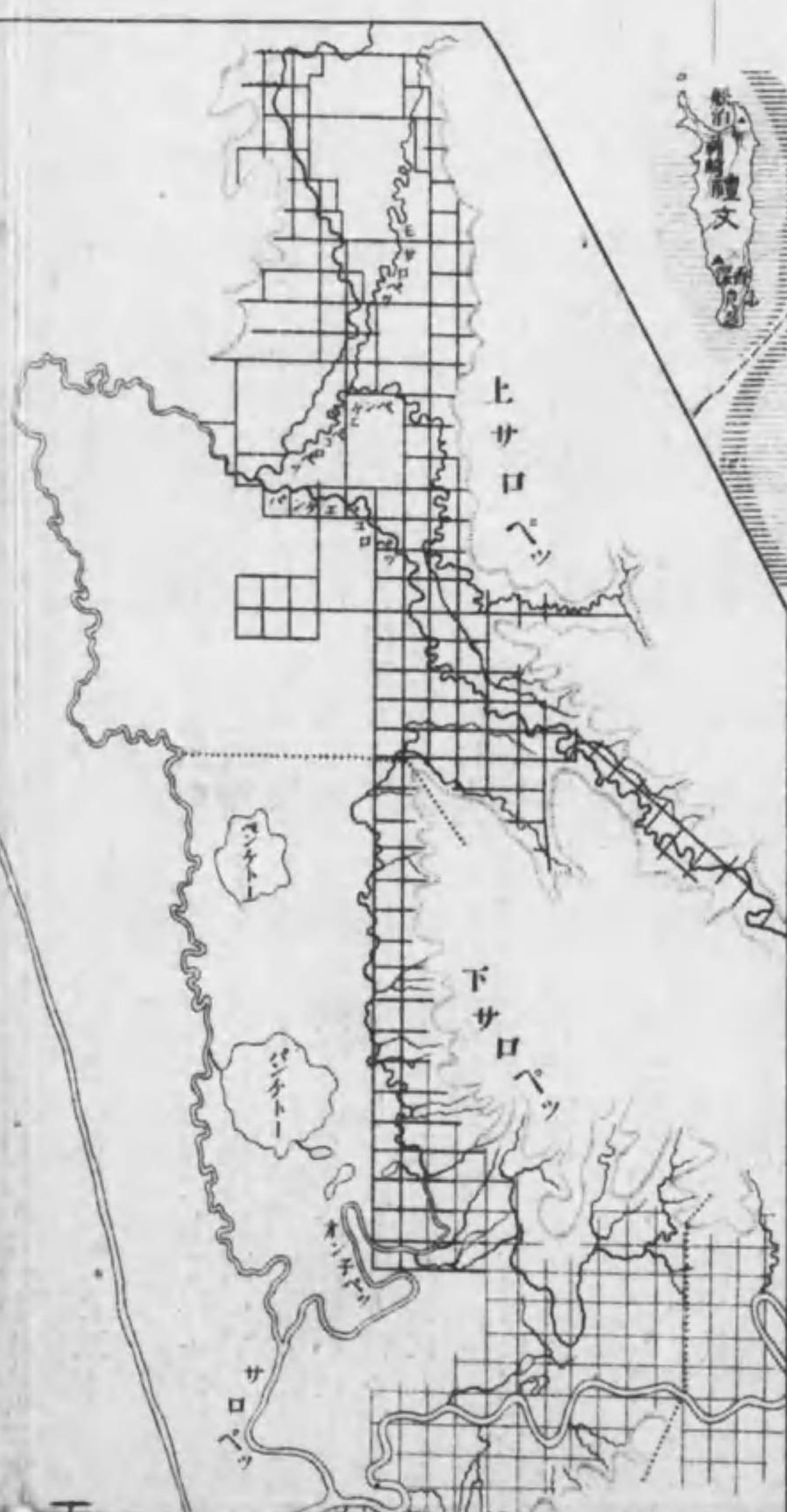
159°

140°

141°

45°

天鹽國中川兩郡之内



力量足らざるも逐年改良の結果漸く其缺點を補ふに至らんとす又洋種を輸入し改良を圖り往々駿馬を産し府縣へも輸出せり牛はホルスタイン、アイシヤ、短角、ゲルンシー、デボン及び其雜種にして和種稀なり乳牛種牛として間々府縣へ輸出せり豚は皆洋種にして農家は往々飼育せり官設牧場は石狩國真駒内に在り各種の良畜を飼育蕃殖し牛馬貸與規則により種畜を牧畜者に無代貸附し又牡牛馬の胤付を許し以て牛馬の改良を圖れり御料牧場は日高國靜内新冠にあり良馬を産出せり民設牧場の數は七十餘ヶ所あり

漁業 本道の水産に富むは世人の普く知る所なり水産物中最も重要なるは鱈にして鮭、昆布、鱈、鰻、鱈、烏賊、鰈、大鰯等之れに次けり其外魚鮫には鮫、鮎、鱈、鱈、チカ、キウリを始め數十種、貝類には鮑、海扇、ホッキ、牡蠣等、海藻類には茗布、石花菜、銀杏草、海藻等あり海獸類も亦少からず

鮭は渡島より北見に至る西海岸諸國に多く産し根室、釧路の二國之れに次く鮭は全道各地に産し就中石狩、根室、北見の三國に多し昆布は東海岸諸國特に日高、釧路、根室の三國に多し鮎は渡島、膽振、日高の三國を主とし鮎は各地にて釣り鮎も亦各地に産すれども千島國最も著名なり其外渡島、後志二國の烏賊日高、釧路二國の鰈、北見根室一國の大鰯、釧路國厚岸の牡蠣は何れも多額の産出あり海産物の販路は頗る廣くして或は粕に搾りて肥料となし或は乾製又は鹽藏して食料品となし其他種々の雜用に供し年々夥しく府縣に輸出し又昆布は多く支那に趣けり

林業 森林は御料林官林民林を合せ殆んど六百萬町歩あり其他未開の原野には尙ほ數多の樹林ありて最初に開けたる一部の地の外は頗る樹木に富めり樹種の重なるものは針葉樹にありては檜松、蝦夷松、イチイ(方言オンコ)とし闊葉樹にありては桂、ヤチタモ、楡(方言アカタモ)刺楸、黄蘗(方言シコロ)榎、槐、槲(方言ガンビ)樺、樺、七葉樹、杉、山毛櫸、菩提樹、赤楊、ハコヤナギ、ドロヤナギ、山胡桃とす此等の樹木は或は建築或は器具或は薪炭に用ふへし又燐寸軸木、鐵道枕木、銃床、染料等種々の材料に供すへし

植樹の業は渡島國其他一部の地に行はれり其樹種は渡島國にては杉、赤松、落葉松を主とし其他の地方にては落葉松を重もとせり又檜松、楡、アスナロ、ハコヤナギ、栗、桐等も少しく栽植せり

礦業 本道は頗る有用なる礦物に富み其既に採取せらるるものは石炭、砂金、硫黃、滿俺、銀、銅、石油、石灰とす石炭は石狩國に最も多く就中幌内、夕張、空知の諸炭山を著名なりとす又釧路、天鹽、北見の諸國にも數多の良炭層ありて前途其た有望なり砂金は北見、天鹽、日高、十勝の諸國に産し殊に北見國の頓別幌別は近頃の發見に係り盛んに採取せり硫黃は各處の舊火山口に堆積し近年は千島國より多量に産せり滿俺は後志國瀬棚郡、銀銅は後志國余市郡より出せり

工業 諸種の工場中規模の大なるは札幌の製麻會社、麥酒釀造所、製粉所、器械製造所、骸炭製造所、小樽の炭礦鐵道會社手宮工場、函館の造船所、上磯のセメント會社、根室國西別の藤野鐵詰所等とす又工業中廣く行はるるは燐寸軸木製造、酒造、澱粉製造、鍛冶、大工等とす其他製糸場、木挽所、亞麻製線所、沃度製造所、醬油製造所、晒館製造所、製氷所、煉瓦石工場、製革場、硝子工場等あり

商業 重なる商業地は函館小樽の二港とす實に本道の二大關門にして内外に向て盛んに取引をなせり其他札幌、岩内、江差、福山、根室、壽都、釧路、稚内、大津、浦河、網走、増毛、余市等は各々其附近地方の市場として樞要の地たり又近來開拓の進歩するに従ひ各處に小商業行はれ漸次便利を増せり物價は交通の便利なる地に於ては府縣に比し格別の差異を見ず其他の地方は運搬の便否に従ひ其價を増せり

明治卅一年管外輸出品價格は合計二千三百八十六萬餘圓にして海産物を主とし農産物、礦産物、林産物之れに次く同年管外輸入物品價格は三千八百八十五萬圓弱にして米は殆んど其半を占めり

金融 本道は新開地にして資本未だ十分ならざるが故に金利甚だ高し通例銀行利子は一ヶ月に付一割乃至二割に至り民間普通の貸借は一ヶ月に付二分乃至三分とし高利貸と稱するものに至りては一ヶ月に付五分以上に達することあり

金融の機關たる銀行の數は本店支店を合せ三十四あり其所在地は函館、小樽、札幌、江差、岩内、根室、釧路、福山、室蘭、余市、古平、増毛とす拓殖銀行も亦遠からず設立して大に金融を助けんとす

實銀 本道は人口の割合に比すれば事業甚だ多きが故に勞力の需要繁くして諸雇賃金は府縣よりも高し末尾に掲ぐる所の賃錢表に就て見るべし

教育 小學校の數は五百餘にして其多くは基本財産として土地を所有し其収入を以て教育費に補充するが故に其維持容易なり又新移民地若くは舊土人部落の如きは官より補助費を補助し學校を設けしめ又簡易教育規程を設けて容易に教育をなし得るの道を開けり

衛生 都會及び發達せる村落には病院又は開業醫あり其他の村落は概ね村醫を置き又新開の村落の如きは官より村醫費の一部を補助して之を置けり流行病は府縣に比すれば甚だ少なし風土病も亦少なく唯新移民地に間歇熱の多く行はるるを見るのみ

第一章 殖民地

殖民適地の撰定 拓殖の業を進むるには先づ殖民適地を撰定するを要するを以て本廳は明治拾九年以來之れを調査をなし今日迄に查了せし未開原野凡四十億坪に達せり而かも殖民地の需要は年々増加するが故に今後尙之れを撰定するの必要あり

殖民地の區劃 右の如く撰定したる殖民適地は其舊移民に貸付したる所なきにあらざり雖も多くは區劃を施設して貸付せり是れ區劃を施せば土地の整理に都合よきのみならず移民を入るるに甚だ便なるによれり

區劃の法は縦横に兩基線を施し其基線に準して平行線を畫し以て大中小の區畫を設けり小畫は通常一戸分と稱し其地積五町歩、中畫は小畫六個を合せ其地積三十町歩、大畫は中畫九個を合せ其地積二百七十町歩なり

今後主要の殖民地 從來移民は常に交通便利にして且地味の肥沃なる處を撰ひて貸附を出願し官も亦之れに應じて貸付し來りたるが故に本道中便利よき渡嶋、後志、石狩、膽振、日高の諸國に於ける原野中第一等地と稱すへき沃野は既に概ね貸付し終り今日此諸國に残り居るは地味の一段劣りたる乾地、大改良を要する濕地及び將來解除すへき小原野にして其地積は尙頗る廣大なりと雖も復た前年の如く一時に多數移民の需要に應ずる能はず今後重んじて區劃して多數移民の希望を充たすは天鹽、北見、十勝、釧路、根室諸國の未開原野に於てせざる可らず

明治三十三年新に貸付すへき區畫地 後志國七原野、膽振國四原野、天鹽國十三原野、北見國六原野、合計三十原野とす其内後志、膽振二國にあるものは何れも其近傍既に開拓し交通便利なれども地積廣からず且概して比較的地味劣り北見、天鹽二國にあるものは多くは交通尙不便なりと雖も地積廣

終

